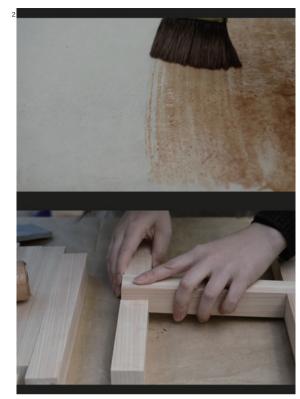
和紙を用いたスツールの提案

A Proposal For A Stool That Utilises Washi

大橋 芽衣









日本の古くからの技術を用いた椅子

和紙は粘りがありしなやかであることから、書くのみならず「用 具」として用いられてきた。このスツールは化学接着剤や合成 染料を一切用いず、和紙と手作りの糊と柿渋、ほぞ組で組まれ た木材から成っている。

Utilising Traditional Japanese Techniques In A Chair

Washi is often used not just as a drawing material, but also as a 'tool' because of its adhesive properties and flexibility. The stool that I have produced takes advantages of these properties by utilising handmade glue, persimmon tannin and wood assembled with mortise and tenon, without any chemical glue or synthetic dye. スターチから糊を作り、和紙を貼り重ね、 る。ほぞ組は釘やネジを一切用いず木材 の鉄媒染で色を濃くしている。 叩いて繊維を絡ませる。

を組むことができる。

和紙は繊維が糊で繋がれることで成る。 柿渋は和紙に丈夫さと撥水性を持たせ 側面は全て和紙を貼り重ね、座面は柿渋